

特集展示

# 旅のしおり

2022年11月19日(土)~12月25日(日)

展示解説会 11月20日(日)、12月18日(日) いずれも14時から1時間程度



## 栗東歴史民俗博物館

住所 滋賀県栗東市小野 223-8 TEL 077-554-2733/FAX 077-554-2755

URL <http://www.city.ritto.lg.jp/hakubutsukan/>

入館料 無料

期間中の休館日 毎週月曜日、11月24日(木)

開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)

《チラシ裏面使用写真》

背景 日本国有鉄道 国鉄名神高速線 パンフレット「バスの窓から」(竹村定治コレクション)部分

右下 京阪電車・太湖汽船観光ポスター「びわこへ」(里内文庫No.361-22)部分

左下 草津町観光協会観光パンフレット「草津」(里内文庫 305-13)部分

《チラシ裏面使用写真》

右下 ANA マリンジャンボぬいぐるみ(竹村定治コレクション)

# 特集展示 旅のしおり

2020年、新型コロナウイルスが世界中に広まり、わたしたちの生活には様々な制限がかかるようになりました。そろそろ自由な気持ちで旅をしたい、そう思う方も多いでしょう。

ここ、栗東は近世には東海道、中山道の二つの街道が、近代以降は鉄道や高速道路が通過する交通の要所として、人々の旅を見つめてきました。

今回の特集展示では、江戸時代の旅の様子を記した史料のほか、当館のコレクションである里内文庫コレクションで収集された近代の旅のしおり（パンフレット）や、ポスター、交通関係資料のコレクションである竹村定治コレクションで収集された旅の記録類等を中心に紹介します。



## ◀ 伊勢講関連資料

江戸時代、最もベーシックな旅といえば伊勢参りの旅。旅人はなじみの伊勢御師を頼って伊勢を目指した。旅の費用を工面するための伊勢講では籤引きで伊勢参りに行くことができる講員を選んだ。写真は伊勢御師が初穂料と引き換えに配り歩いた伊勢暦、お祓い箱、代参を決める籤箱と籤、番号札、講史料を納める講箱、掛金の出納帳。



## ▲秋の行楽 手原の茸山へ (里内文庫No.361-69)

明治時代以降、鉄道が整備されるようになると旅の起点は鉄道駅に変わる。手原駅からの松茸狩りをPRするポスター。松茸狩りは都市部からの観光の一つ。



## ▲ハワイの旅の記録 (竹村定治コレクション)

高度経済成長期になると、旅先の選択に海外が加わりました。昭和47年、ハワイの旅の記録。観光パンフレットはもとより荷物札やホテルのマッチ箱に至るまで。

